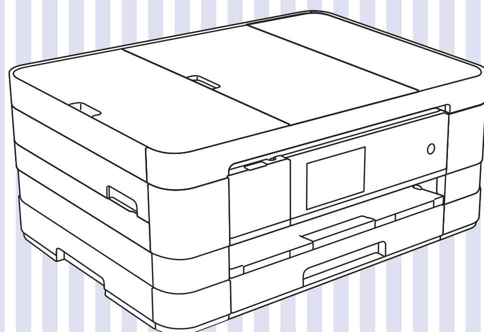
brother

PRIVIO

DCP-J4210N
MFC-J4510N
ユーザーズガイド
－応用編－



困ったときは 本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編 「こんなときは」で調べる

▼

2 サポート ブラザー 検 索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

Version 0 JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。	付属

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	付属 CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた⇒ ユーザーズガイド基本編 「CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは」
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	
6. ユーザーズガイド ネットワーク編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 6 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	サポートサイト http://solutions.brother.co.jp/
モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	
クラウド接続ガイド（PDF 形式） パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法を説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF 形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
MFC-J4510N のみ **AirPrint ガイド（PDF 形式）** パソコンを介さずに、iOS を搭載した携帯端末からデータを直接印刷する方法を説明しています。	
Wi-Fi Direct ガイド（PDF 形式） Wi-Fi Direct™ 対応の携帯端末と本製品を無線 LAN アクセスポイントなしで接続する方法を説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

目次

Memo

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
(ヒントアイコン)	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は DCP-J4210N、MFC-J4510N を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に記載されていますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J4510N のイラストを使用しています。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、ユーザーズガイド 基本編「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

第 1 章

お好みで設定する

お好みで設定してください

オプションサービス

画面の設定を変更する

お好みで設定してください

本製品の画面の設定を変更します。

1  **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【基本設定】、【画面の設定】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 **変更したい項目を選ぶ**

- 【画面の明るさ】：
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】：
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

4 **目的の設定を選ぶ**

- 画面の明るさ：
  【明るく／標準／暗く】から選びます。
- 照明ダウンタイマー：
  【切／10 秒／20 秒／30 秒】から選びます。

5 **必要に応じて、手順 3、4 を繰り返し、画面設定を変更する**

6  **を押して設定を終了する**

表示言語を設定する

画面の表示言語を英語に切り替えることもできます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【表示言語設定】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【英語】または【日本語】を選ぶ

お買い上げ時は、【日本語】に設定されています。

4 を押して設定を終了する

英語による説明を以下に示します。
This setting allows you to change LCD language to English.

1. Press , and press 【全てのメニュー】.
2. Flick up or down, or press ▲ or ▼ to display 【初期設定】and then press it.
3. Flick up or down, or press ▲ or ▼ to display 【表示言語設定】and then press it.
4. Press 【英語】.
5. Press .

タイムゾーンを設定する

タイムゾーン設定とは、世界標準時間と日本時間の時差の設定です。お買い上げ時は、日本国用のタイムゾーン（時差＋ 9 時間）が設定されているので、特に設定し直す必要はありません。ここで設定された時間は、インターネット経由で送信するドキュメントのヘッダー表示に使われます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【タイムゾーン】を押す

4 画面に表示されているテンキーで【0】、【9】と押す

世界標準時間に対し日本は 9 時間早いため、09：00 の前に「+」が表示されていることを確認してください。世界標準より早いか遅いかは【+ / −】で切り替えることができます。

5 【OK】を押す

時差＋ 9 時間が設定されました。

6 を押して設定を終了する

時刻の前に表示されている「UTC」は、協定世界時（Universal Time, Coordinated）のことで、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な国際標準時として使用されています。

ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する（MFC-J4510N のみ）

本製品は、相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、人の手で送信操作を繰り返さなくても自動で再ダイヤルするように設定されています。しかし、重要な書類を送信する場合など、送信結果を把握したいときは、自動再ダイヤルを解除することができます。この設定値は、次に設定変更するまで有効です。

1 **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【初期設定】、【ファクス自動再ダイヤル】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 **【オフ】を押す**

解除した状態から再度設定する場合は、ここで【オン】を選んでください。

- 【オン】：
  相手が通信中でも、3 回まで自動的に再ダイヤルして送信を試みます。
- 【オフ】：
  自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。

4 **を押して設定を終了する**

外線発信番号を設定する（MFC-J4510N のみ）

構内交換機（PBX）などを利用している電話回線の環境において、外線発信するときに必要な外線（識別）番号をあらかじめ登録しておくことができます。外線番号を押してからダイヤルしたり、外線番号を付けて電話帳に登録したりする必要がなくなります。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【外線番号】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 【オン】を押す

お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

- 【オン】：
  ダイヤル時、外線番号を常に頭に付けて発信します。
- 【オフ】：
  外線番号機能を利用しません。

4 【外線番号】を押す

5 画面に表示されているテンキーで外線（識別）番号を入力し、【OK】を押す

【0】～【9】、【＊】、【#】、【！】を使って最大 5 桁まで登録できます。

- 【！】は、単独でしか使用できません。（他の数字、記号と組み合わせることはできません。）
- ダイヤル10PPS、ダイヤル20PPS回線をご利用の場合は【＊】、【#】が登録できません。

お願い

■ 電話回線をご利用の環境が、外線番号を必要としない場合は登録しないでください。

6 を押して設定を終了する

PC ファクス送信時は PC-FAX の外線番号の設定が優先されます。

ファクス誤送信防止機能を設定する（ダイヤル制限機能）（MFC-J4510Nのみ）

ファクス送信を禁止したり、間違った相手にファクスを送信しないようファクス番号の 2 度入力でダイヤルした番号の確認を強制したりできます。

1 **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、【ダイヤル制限機能】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 **制限したい発信動作を選ぶ**

- 【直接入力】：
  操作パネル上のダイヤルボタンから直接ダイヤルして送信する場合です。
- 【電話帳】：
  本製品の電話帳に登録した番号を選んで送信する場合です。
- 【お気に入り】：
  登録したお気に入りから送信する場合です。

4 **制限内容を選ぶ**

- 【2 度入力】：
  ファクス番号の再入力が求められ、1 度目に入力した番号と一致した場合のみ、ファクス送信されます。1 度目とは異なった番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
- 【オン】：
  ファクス送信を禁止します。
- 【オフ】：
  制限せず通常のファクス送信を行います。

5 **必要に応じて、手順 3、4 を繰り返し、制限したい発信動作についてすべて設定する**

6 **を押して設定を終了する**

IP ファクスの設定をする（データコネクト設定）（MFC-J4510N のみ）

データコネクトとは、NTT のフレッツ 光ネクストのご契約をされている場合に利用できるサービスです。次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクスを使用する場合に設定します。（モノクロファクスのみ）

1 **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、【データコネクト設定】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 **【IP ファクス】を押す**

4 **送信動作を選ぶ**

- 【専用】：
  ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信およびポーリング送信の場合は、通常のファクス送信になります。
- 【優先】：
  相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
- 【オフ】：
  通常のファクス送信のみとなります。お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

5 **【送信速度】を押す**

6 **光ネクストのご契約内容に合わせて通信速度を選ぶ**

- 【自動】：
  本製品が回線にアクセスして判断します。お買い上げ時は、【自動】に設定されています。
- 【標準】：64kbps
- 【高速】：512kbps
- 【最高速】：1000kbps

7 **を押して設定を終了する**

データコネクトとは、お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュリティ性が高く安定した帯域確保型データ通信を実現する NTT のフレッツ 光ネクストのサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトで IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT 東日本 /NTT 西日本のサービスです。

セキュリティ機能ロックを設定する（MFC-J4510N のみ）

管理者が「ユーザー名」と「パスワード」を登録して利用者に割り振り、利用できる機能をユーザーごとに制限することができます。セキュリティ機能ロックは、初期の設定や利用制限管理をネットワーク上のパソコンから行うため、本製品もネットワークに接続されている必要があります。ご利用になる場合は、本製品をいったんネットワークに接続してください。⇒かんたん設置ガイド

設定後は、本製品単独でセキュリティ機能ロックのオン / オフを切り替えたり、ユーザーを切り替えたりできます。制限がかけられる機能は次のとおりです。

- PC プリント
- デジカメプリント
- コピー
- カラープリント
- 枚数制限
- ファクス送信
- ファクス受信
- スキャン
- Web アップロード
- Web ダウンロード

- 管理者だけが各ユーザーの機能ロックのオン / オフ、制限管理、変更を行えます。設定または変更するには、管理者パスワードが必要です。パスワードを忘れた場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
- セキュリティ機能ロックを利用する場合は、個別ユーザー以外の一般ユーザー用に、「一般モード」の利用制限を設定してください。
- セキュリティ機能ロックがオンの場合でも、【ファクス画質 / 原稿濃度 / 同報送信 / タイマー送信 / とりまとめ送信 / リアルタイム送信 / 海外送信モード / ポーリング送信・受信（ファクス送信とファクス受信の両方を利用制限せず、有効にしているときのみ）】は設定できます。ただし、ファクス送信が制限されている場合は、すべてのファクス設定がロックされます。
- ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、受信ファクスはメモリーに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、蓄積されたファクスを印刷するか確認するメッセージが表示されます。

セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

ネットワーク上のパソコンでウェブブラウザーを起動し、セキュリティ機能ロックの設定画面を表示させます。

> ここで設定するパスワードは、本製品の設定画面を表示するためのものです。セキュリティ機能ロックの管理者パスワードではありません。

1 本製品の IP アドレスを調べる

設定には、本製品の IP アドレス情報が必要です。あらかじめ、「ネットワーク設定リスト」を印刷して、IP アドレスをご確認ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「本製品の設定内容や機能を確認する」

2 パソコンでウェブブラウザーを起動する

3 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

例：192.168.1.2 の場合は、「http://192.168.1.2/」と入力します。

4 [ログイン] にパスワードを入力し、➡ をクリックする

はじめて設定画面を表示したときは、ここでパスワードを設定します。
⇒ 14 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面をはじめて表示したときは」



5 [管理者設定] タブー [セキュリティ機能ロック] をクリックする



セキュリティ機能ロックの設定画面が表示されます。

セキュリティ機能ロックの設定画面をはじめて表示したときは

パスワードを設定してください。

(1) [パスワードを設定してください] をクリックする

(2) [新しいパスワードの入力] にパスワードを入力する
32 文字まで入力できます。

(3) [新しいパスワードの確認] に、パスワードをもう一度入力する

(4) [OK] をクリックする

管理者パスワードを登録する

「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」（⇒ 14 ページ）で設定画面を表示したあと、管理者パスワードを登録します。
セキュリティ機能ロックは、パスワードを知る管理者だけが設定できます。
パスワードを変更することもできます。

1 セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

⇒ 14 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」

2 ［セキュリティ機能ロック］の［オン］をクリックする

3 ［新しいパスワードの入力］に、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力する

4 ［新しいパスワードの確認］に、管理者パスワードをもう一度入力する

5 画面下部の［OK］をクリックし、管理者パスワードを登録する

管理者パスワードを変更する
(1)「管理者パスワード登録する」の手順 3、4 で、新しい管理者パスワードを入力する (2) 画面下部の［OK］をクリックする

パスワードを忘れた場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

ユーザーを登録する

一般モードと個別のユーザーを登録します。個別のユーザーは 10 人（ユーザー）まで登録できます。それぞれ名前とパスワード、利用できる機能を設定してください。セキュリティ機能ロックを【オン】にすると、個別のユーザーに切り替えない限り、本製品は常時一般モードとなります。

1 セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

⇒ 14 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」

2 ［セキュリティ機能ロック］の［オン］をクリックする

3 ［一般モード］で制限したい機能のチェックを外す

一般モードは、本製品を利用するときにパスワード入力を必要としないモードです。

4 未登録のユーザーを選び、［制限 ID 番号 /ID 名］に、ユーザー名を入力する

7 文字まで入力できます。

5 ［パスワード］に、このユーザー用のパスワードを 4 桁の数字で入力する

他のユーザーと同じパスワードは設定できません。

6 このユーザーに制限したい機能のチェックを外す

印刷できるページ枚数を制限するには、［枚数制限］の［オン］にチェックを入れて、［Max.］に枚数を入力します。

7 必要に応じて、手順 4 ～ 6 を繰り返し、他のユーザーを登録する

8 画面下部の［OK］をクリックして登録を終了する

セキュリティ機能ロックをオン / オフにする

セキュリティ機能ロックをオンにする

セキュリティ機能ロックをオンにすると、一般モードが有効になります。個別ユーザーの設定を有効にするには、⇒ 16 ページ「ユーザーを切り替える」を参照してください。

1 を押す

2 **【全てのメニュー】、【基本設定】、【セキュリティ機能ロック】を押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 **【ロック オフ⇒オン 】を押す**

4 **画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す**

セキュリティ機能ロックがオンに設定されます。



セキュリティ機能ロックをオフにする

1 **待ち受け画面の 一般モード または XXXXX を押す**

×××は現在の個別ユーザーの登録名です。

2 **【ロック オン⇒オフ】を押す**

3 **画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す**

ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックがオンのときに、登録されている個別のユーザーが本製品を使用できるように切り替えます。

1 **待ち受け画面の 一般モード または XXXXX を押す**

×××は現在の個別ユーザーの登録名です。

2 **【ユーザー切替】を押す**

3 **切り替えたいユーザーを選ぶ**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

4 **画面に表示されているテンキーで、このユーザー用に設定されたパスワードを入力し、【OK】を押す**

- 一般モードに戻るには、XXXXX を押し、【一般モードへ切替】を押します。
- 個別のユーザーが本製品を使用したあと、一般モードに戻さず放置しても、1 分後に自動で一般モードに戻ります。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する（MFC-J4510N のみ） オプションサービス

本製品は、ナンバー・ディスプレイサービス（NTT の場合のサービス名）に対応しています。電話会社と当サービスの契約をしている場合は、【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にしてください。また、本製品のご購入後、電話会社と当サービスの契約を解除された場合は、本製品の設定も変更する必要があります。
お買い上げ時は、【なし】に設定されています。ナンバーディスプレイ機能について詳しくは、ご契約の電話会社にお問い合わせください。

電話番号表示機能	名前表示機能	着信履歴機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。	電話会社の電話帳に掲載登録している相手から電話がかかってくると、相手の名前と電話番号が画面に表示されます。	ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にした場合、かかってきた電話番号を記録します。着信記録から電話帳に登録したり、着信履歴リストを印刷できます。

お願い

- 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】にしてください。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。ナンバー・ディスプレイをご利用になる場合は、回線環境をご確認ください。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。また、ナンバー・ディスプレイを利用する / しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。

- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターまたはダイヤルアップルーターの設定が必要です。
- 電話回線にドアホン、ガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ナンバー・ディスプレイは、複数台の装置に表示することはできません。外付け電話を接続して本製品でナンバー・ディスプレイを使用する場合は、外付け電話のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。ただし、本製品の設定により、外付け電話の番号表示を優先させることは可能です。
- 外付け電話でナンバー・ディスプレイ機能を使用する場合、受信モードを【F/T= 自動切換え】に設定していると再呼出音が鳴り始めてからは、画面に番号表示されない可能性があります。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 契約状況、設置環境に合わせて設定する

- 【あり】
  本製品の画面に相手の電話番号が表示されます。
- 【なし】
  ナンバーディスプレイ機能を使用しません。
- 【外付け電話優先】
  本製品と接続している電話機に相手の電話番号が表示されます。

4 を押して設定を終了する

Memo

第２章

ファクス（MFC-J4510N のみ）

ファクスの便利な送りかた

応用

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒17 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する（MFC-J4510N のみ）」

1. **原稿をセットする**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」
2. **【ファクス】を押す**
3. **【履歴】を押す**
4. **【発信履歴】または【着信履歴】を押す**
5. **ファクスを送る相手先を選ぶ**
   相手先が表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。
6. **【送信先に設定】を押す**
7. **【スタート】を押す**

発信履歴や着信履歴を削除する

(1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」の手順 2 ～ 4 の操作を行う
(2) 削除する相手先を選ぶ
(3) 【設定】を押す
(4) 【消去】を押す
◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
(5) 【はい】を押す
◆選んだ番号が消去されます。
(6) [ホーム] を押す

相手先の受信音を確認してから送る

［手動送信］

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしていない場合⇒手順 4 へ

3 【ファクス送信】を押す

4 【オンフック】を押したあと、相手先のファクス番号を入力する

5 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか？／送信／受信】と表示されます。⇒手順 6 へ

6 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

(1) **【送信中】表示中に ✕ を押す**
◆【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(2) **【はい】を押す**
◆ファクスの送信が中止されます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

［同報送信］

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、電話帳・グループダイヤルから、合わせて最大 250 箇所まで指定できます。

お願い

■ 同報送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

同報送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしていない場合⇒手順 4 へ

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】を押す

5 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

6 【番号追加】を押す

7 番号の入力方法を選ぶ

【番号追加 / 電話帳から選択 / 検索して選択】から選びます。

【番号追加】を選んだ場合

8 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 6 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 9 へ

【電話帳から選択】を選んだ場合

8 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「グループダイヤルを登録する」

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 6 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 9 へ

【検索して選択】を選んだ場合

8 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭数文字で可）を入力して【OK】を押し、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 6 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 9 へ

9 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

⑩【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 ⑫ へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 ⑪ へ

⑪【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⑫ に進みます。

⑫【いいえ】を押す

すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

送るのをやめるときは

(1) **ダイヤル中に ✕ を押す**

◆【同報送信をキャンセルします　現在のあて先のみか　全ての送信先かを選択してください／ XXX（現在の番号または電話帳に登録してある名前）／全ての同報送信】と表示されます。

(2) **目的のボタンを押す**

現在送信中のジョブをキャンセルする場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※キャンセルを中止する場合は、✕ を押します。

(3) **【はい】を押す**

すべての同報送信をキャンセルした場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。送信中のジョブをキャンセルした場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号（または名前）が表示されます。続けてキャンセルする場合は（1）～（3）を繰り返します。

※キャンセルを中止する場合は、【いいえ】を押します。

- 同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。
- 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先を自動的に削除します。
- 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。
- 原稿読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら、【中止する】または ✕ を押して送信を中止するか、【読み取り分送信】を押して読み取られた分だけを送ります。

内容を確認してから送る

[みてから送信]

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

お願い

■ みてから送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

みてから送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1. **原稿をセットする**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」
2. **【ファクス】を押す**
   みるだけ受信をしていない場合⇒手順 4 へ
3. **【ファクス送信】を押す**
4. **【設定変更】を押す**
5. **【みてから送信】を押す**
   キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。
6. **【する】を押す**
   画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。ただし、【カラー設定】は【モノクロ】でご利用ください。
   ⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」
7. **【OK】を押す**
8. **相手先のファクス番号を入力する**
9. **【スタート】を押す**
   ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、画面にこれから送るファクスの内容が表示されます。⇒手順 12 へ

   原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
   - 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 11 へ
   - 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ
10. **【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す**
    送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 11 に進みます。
11. **【いいえ】を押す**
    画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

12 画面で、ファクスの内容を確認する

ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向にスクロールします。
◀/▶	横方向にスクロールします。
/	前のページ/次のページを表示します。
	90°ずつ右回転します。
/	拡大 / 縮小表示します。
【スタート】	ファクス送信を開始します。

A) ファクスを送る場合

13 【スタート】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

B) ファクス送信を中止する場合

13 を押す

画面に、【停止しますか ?／はい／いいえ】と表示されます。

14 【はい】を押す

送信が中止されます。

時間を指定して送る

[タイマー送信]

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

お願い

■ タイマー送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

タイマー送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしていない場合⇒手順④へ

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】を押す

5 【タイマー送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

6 更に【タイマー送信】を押して、【する】を押す

7 【指定時刻】を押す

8 画面に表示されているテンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

画質など、他の設定も変更する場合は、を押して、設定変更画面で項目を選び、設定を選びます。
ただし、【カラー設定】は【モノクロ】でご利用ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

9 【OK】を押す

10 ファクス番号を入力するか、【電話帳】または【履歴】から相手先を選ぶ

 とりまとめ送信（⇒ 27 ページ）するときは、同じダイヤル方法で相手先を選んでください。

11 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順⑬へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順⑫へ

12 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順⑬に進みます。

13 【いいえ】を押して設定を終了する

 相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。

 タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

 タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

同じ相手への「タイマー送信」を1 回の通信にまとめる

［とりまとめ送信］

タイマー送信を複数設定している場合に、相手先の番号と予約時刻が同じものを、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

この設定は、いったん設定すると以降は、タイマー送信設定されたファクスの中から相手先番号と予約時刻が同じものを、本製品が自動的に検出し、まとめて送信するようになります。

お願い

- とりまとめ送信でひとつにまとめることができるのは、同じダイヤル方法（直接ダイヤル / 電話帳から選択 / 履歴から選択 / お気に入りから選択）で設定された相手先に限ります。とりまとめをするつもりでタイマー送信を設定するときは、ダイヤル方法は統一してください。
- とりまとめ送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

1 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしていない場合⇒手順 3 へ

2 【ファクス送信】を押す

3 【設定変更】を押す

4 【とりまとめ送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

5 【する】を押す

6 [ホーム] を押して設定を終了する

原稿をすぐに送る

［リアルタイム送信］

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

- リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
- リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。
- リアルタイム送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしていない場合⇒手順 4 へ

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】を押す

5 【リアルタイム送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

6 【する】を押す

- 【する】：
  リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
  通常の送信で送ります。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

7 【OK】を押す

8 相手のファクス番号を入力する

9 【スタート】を押す

本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

相手の操作で原稿を送る

［ポーリング送信］

本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクス機を使って、その原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。
また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

お願い

■ ポーリング送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

- 相手側のファクス機にポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- 機密ポーリング送信は、相手側のファクス機もブラザー製の場合のみ行えます。
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- ポーリング送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしていない場合⇒手順 4 へ

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】を押す

5 【ポーリング送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

6 【標準】または【機密】を選ぶ

7 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

- 画質など、他の設定も変更する場合は、【設定変更】を押して、項目を選び、設定を選びます。
ただし、【カラー設定】は【モノクロ】でご利用ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

8 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 10 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 10 に進みます。

10 【いいえ】を押す

- ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信を解除したいときは、[設定アイコン]、【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を押し、解除したいファクスを選び、【停止】を押します。
⇒ユーザーズガイド 基本編「送信待ちファクスを確認・解除する」

海外へ送る

[海外送信モード]

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

ADF（自動原稿送り装置）から送る

原稿台ガラスからは、1回の通信で2枚以上のカラー原稿を送ることができないため、綴じや切り貼りのないサイズが揃った原稿であればADF（自動原稿送り装置）の使用をお勧めします。

1. **ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」
2. **【ファクス】を押す**
   みるだけ受信をしていない場合⇒手順4へ
3. **【ファクス送信】を押す**
4. **【設定変更】を押す**
5. **【海外送信モード】を押す**
   キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。
6. **【する】を押す**

   > 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
   > ⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

7. **【OK】を押す**
8. **相手先のファクス番号を入力する**
9. **【スタート】を押す**

   ファクスが送られます。
   カラーで送信した場合は、相手につながってから原稿の読み取りが始まります。

原稿台ガラスから送る

綴じられた資料や本など、ADF（自動原稿送り装置）にセットできない原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ただし、原稿が複数枚あるときはカラーで送ることができないため、モノクロで送信するか、複数回に分けて送信してください。

1. **原稿台ガラスに原稿をセットする**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」
2. **【ファクス】を押す**
   みるだけ受信をしていない場合⇒手順4へ
3. **【ファクス送信】を押す**
4. **【設定変更】を押す**
5. **【海外送信モード】を押す**
   キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。
6. **【する】を押す**

モノクロで送る場合

7. **【カラー設定】を押す**
8. **【モノクロ】を押す**

   > お買い上げ時の設定値である【モノクロ】を変更していない場合は、手順7、8のカラー設定を行う必要はありません。
   >
   > 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
   > ⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

9. **【OK】を押す**
10. **相手先のファクス番号を入力する**

⓫【スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 ⓭ へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 ⓬ へ

⓬【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⓭ に進みます。

⓭【いいえ】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

カラーで送る場合

❼【カラー設定】を押す

❽【カラー】を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

❾【OK】を押す

❿ 相手先のファクス番号を入力する

⓫【スタート】を押す

画面に【カラーファクスを 1 枚のみ送信します　複数枚送信したいときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットし直してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。

⓬【はい（カラー送信）】を押す

【いいえ】を押すと、原稿台ガラスからは送ることができません。

操作は終了です。ファクスが送られます。

ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

[自動縮小]

記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【する】を押す

- 【する】：
自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】：
自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

4 を押して設定を終了する

自動縮小を【する】に設定しても、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、複数枚の記録紙に分割して印刷されます。

本製品の操作で相手の原稿を受ける

［ポーリング受信］

本製品から操作して、相手側のファクス機にセットされた原稿を受けます。（これを「ポーリング受信」といいます。）
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

- 相手側のファクス機にポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- 機密ポーリング受信は、相手側のファクス機もブラザー製の場合のみ行えます。
- ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。（カラーでの受信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- 相手側のファクス機がポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

ポーリング受信をする

1 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしていない場合⇒手順 3 へ

2 【ファクス送信】を押す

3 【設定変更】を押す

4 【ポーリング受信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

5 設定を選ぶ

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順 7 へ
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

6 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は 24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

- 本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。
- ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に * を入力してください。
- タイマーポーリング受信をキャンセルするには、（設定アイコン）、【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を押し、解除したいファクスを選び、【停止】を押します。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「送信待ちファクスを確認・解除する」

複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。
順次ポーリングでは、1 回の操作で、複数の相手先のファクス機にセットされた原稿を受けることができます。

1 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしていない場合⇒手順 3 へ

2 【ファクス送信】を押す

3 【設定変更】を押す

4 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

5 【番号追加】を押す

6 番号の入力方法を選ぶ

【番号追加 / 電話帳から選択 / 検索して選択】から選びます。

【番号追加】を選んだ場合

7 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 5 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 8 へ

【電話帳から選択】を選んだ場合

7 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 5 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 8 へ

【検索して選択】を選んだ場合

7 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭数文字で可）を入力して【OK】を押し、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 5 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 8 へ

8 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

9 【設定変更】を押す

10 【ポーリング受信】を押す

11 設定を選ぶ

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順 13 へ
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

12 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は 24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

13 【スタート】を押す

すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリングレポート」が印刷されます。

順次ポーリング受信をやめるときは

(1) ダイヤル中に ✕ を押す

◆【順次ポーリングをキャンセルします　現在のあて先か　全ての送信先かを選択してください／XXX（現在の番号または電話帳に登録してある名前）／全ての順次ポーリング】と表示されます。

(2) 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブをキャンセルする場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※キャンセルを中止する場合は、✕ を押します。

(3) 【はい】を押す

すべての順次ポーリングをキャンセルした場合は、順次ポーリングレポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。送信中のジョブをキャンセルした場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号（または名前）が表示されます。続けてキャンセルする場合は⑴～⑶を繰り返します。

※キャンセルを中止する場合は、【いいえ】を押します。

本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する

[リモート受信]

親切受信の設定が【しない】の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本製品と接続している電話機から本製品を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を【する】にします。(お買い上げ時は【しない】に設定されています。) また、リモート起動番号を変更することもできます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【リモート受信】、【リモート受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【する】を押す

リモート起動番号が表示されます。

- リモート起動番号とは、本製品の外付け電話端子に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用する番号です。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- リモート起動番号を変更するときは、【起動番号】を押して、1 桁目は「#」のままで、下 2 桁の数字部分を変更してください。3 桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している電話機から特定の相手に電話がかけられなくなります。

4 を押して設定を終了する

リモート受信の操作

1 着信音が鳴ったら本製品と接続している電話機の受話器をとる

2 本製品と接続している電話機の受話器を持ったまま、「#」「5」「1」を押す

「#51」は、リモート起動番号です。

3 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

ファクスの受信が始まります。

お願い

- ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機のトーンボタンを押して、トーン（プッシュ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。
- 本製品が待機状態（スリープモード）にあるときに、外付け電話で電話をかけると、リモート受信および親切受信をすることができません。いったん電話を切り、あらためて送信してもらってください。

- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により、使用できないことがあります。

ファクスを転送する

［ファクス転送］

受信したファクスを別のファクス機に転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

- 【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- 【ファクス転送】を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- 【ファクス転送】は、【メモリ保持のみ】、【PC ファクス受信】、【電話呼び出し】と同時に設定できません。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】、【ファクス転送】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号を入力し、【OK】を押す

- すでに転送先のファクス番号が登録されているときは、登録済みのファクス番号が表示されます。
転送先のファクス番号を変更する場合は ⌫ を押して登録済みの番号を消去してから、入力し直します。

- みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 5 へ
- みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 4 へ

4 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 を押して設定を終了する

- 転送先のファクス機が通話中のときは、自動的に 5 分おきに 3 回まで再ダイヤル（【ファクス自動再ダイヤル】が【オン】の場合⇒ 9 ページ）されます。
- ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

受信したファクスをパソコンに送る

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

- カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- 【PC ファクス受信】は、【ファクス転送】、【メモリ保持のみ】と同時に設定できません。
- 【PC ファクス受信】は Windows® でのみ使用できます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

4 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選び、【OK】を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。

ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

- このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

- みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 6 へ
- みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

5 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

6 を押して設定を終了する

- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」
- 手順 5 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【メモリ受信】を【オフ】にすると【全てのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。
- 手順 5 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

通信状態を確かめる

通信管理

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

通信記録をすぐに確認したいとき

定期的に印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

1. **記録紙をセットする**
   ⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」
2. **を押す**
3. **【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す**
   キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。
4. **【OK】を押す**

   通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。
5. **印刷が終了したら、を押す**

出力間隔を変更する

1. **を押す**
2. **【全てのメニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【通信管理レポート】、【通信管理レポート】を順に押す**
   キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。
3. **印刷間隔を選ぶ**
   【レポート出力しない／ 50 件ごと／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと】から選びます。

A) 【レポート出力しない /50 件ごと】を選んだ場合

(1) を押して設定を終了する

B) 【6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと】を選んだ場合

(1) 【印刷時刻指定】を押して、時間を 24 時間制で選び、【OK】を押す

(2) を押して設定を終了する

C) 【7 日ごと】を選んだ場合

(1) 【印刷時刻指定】を押して、時間を 24 時間制で選び、【OK】を押す

(2) 【曜日指定】を押して、曜日を選ぶ

(3) を押して設定を終了する

通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

すぐに印刷する

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

4 【OK】を押す

5 印刷が終了したら、を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 設定値を選ぶ

- 【オン】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 【オン+イメージ】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
- 【オフ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 【オフ+イメージ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの 1 ページ目を印刷します。

リアルタイム送信（⇒ 28 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

カラーで送信した場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。

4 を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

［着信履歴リスト］

着信履歴を印刷します。

着信履歴リストは、モノクロでしか印刷できません。

1. **記録紙をセットする**

   ⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2. **を押す**

3. **【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す**

   キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

4. **【OK】を押す**

5. **印刷が終了したら、を押す**

ファクスデータの予備を残す

[ファクスバックアップ]

「みるだけ受信」や「メモリー受信」などを設定せず、本製品のメモリーにファクスデータを残さないようにしている場合でも、本製品には受信データを10日間保持しておく機能があります。

保持されたデータは印刷して確認することができます。

- カラー受信したファクスは保持されません。
- 保持できるファクスデータは直近5件（合計2MB）までです。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【その他】、【ファクスバックアップ】、【ファクスバックアップ】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【オン】または【オフ】を押す

お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

- 【オン】：
  ファクスデータを保持する場合に選びます。
- 【オフ】：
  ファクスデータを保持しない場合に選びます。

4 を押して設定を終了する

保持したデータを印刷するには

(1) 「ファクスデータの予備を残す」の手順1、2の操作を行う
(2) 【再プリント】を押す
(3) 【OK】を押す
(4) を押す

保持したデータが不要なときは

(1) 「ファクスデータの予備を残す」の手順1、2の操作を行う
(2) 【消去】を押す
(3) 【はい】を押す
(4) を押す

第３章

電話帳（MFC-J4510N のみ）

電話帳を利用する

電話帳

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示される発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 41 ページ「着信履歴リストを印刷する」

- ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 【ファクス】を押す

2 【履歴】を押す

3 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

履歴は最新の 30 件が記録されています。

4 電話帳に登録したい番号を選ぶ

5 【設定】を押す

6 【電話帳に登録】を押す

7 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

8 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集して、【OK】を押す

編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。
読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

9 【番号 1】に番号が入力されていることを確認する

変更したい場合は、【番号 1】を押し、番号を変更して【OK】を押します。
必要に応じてこの相手先の 2 つ目の番号も登録できます。【番号 2】を押して番号を入力し、【OK】を押します。

10 【OK】を押す

11 ［ホーム］を押して登録を終了する

グループダイヤルを登録する

[グループ登録]

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ 22 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

お願い

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。その際、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳リストを印刷する」

1 【ファクス】を押す

2 【電話帳】を押す

3 【設定】を押す

4 【グループ登録】を押す

5 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示するグループ名を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

6 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集して、【OK】を押す

編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。
読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

7 【追加／消去】を押して、グループに登録する相手先をを選んでチェックマークを付ける

8 登録する番号をすべて選び終わったら、【OK】を押す

9 登録内容を確認し、【OK】を押す

10 [ホーム] を押して登録を終了する

グループダイヤルに登録されている相手先を変更するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 4 で、【変更】を押す

(2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ

(3) 【追加／消去】を押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

(4) 追加または削除する相手先を選び、【OK】を押す
追加したい相手を押してチェックマークを付けます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。

(5) 【OK】を押す
◆変更内容が反映されます。

(6) [ホーム] を押す

グループダイヤルを削除するには
(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❹ で、【消去】を押す (2) 削除するグループダイヤルを選んでチェックマークを付け、【OK】を押す 【消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。 (3) 【はい】を押す (4) 🏠 を押す

パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは下記をご覧ください。

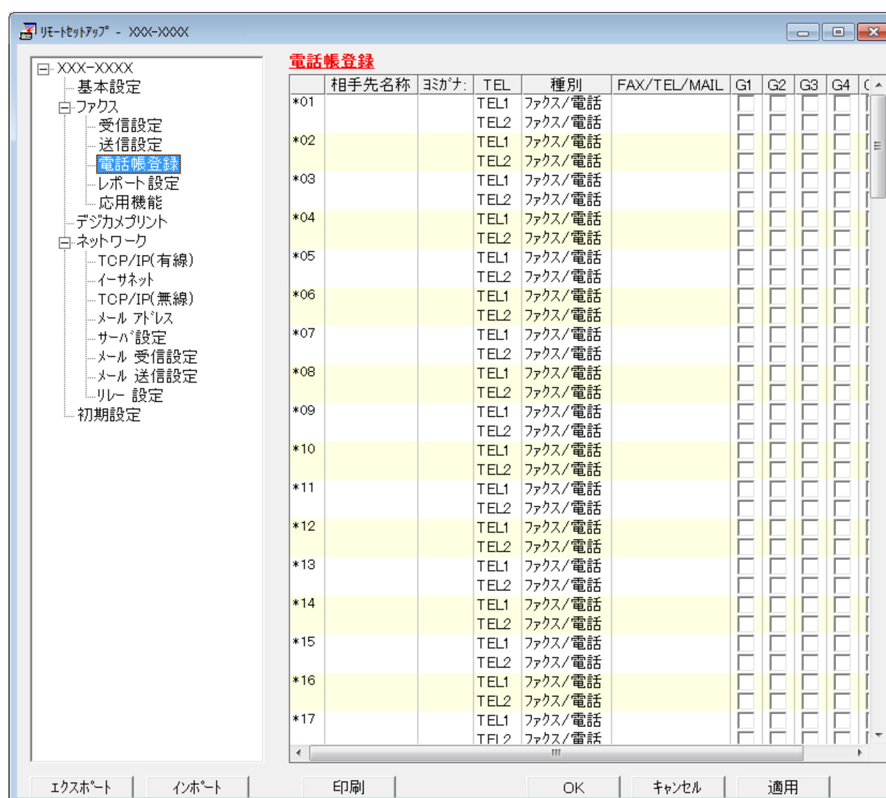
Windows® の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」ー「リモートセットアップを利用する」

Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」ー「リモートセットアップを利用する」

リモートセットアップ画面例



Memo

第４章

転送・リモコン機能（MFC-J4510N のみ）

外出先から本製品を操作する　リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

［暗証番号］

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

お願い

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、【OK】を押す

【1】～【9】、【＊】、【#】で、頭の 3 桁を設定します。4 桁目は強制的に「＊」が付きます。
暗証番号「123 ＊」の場合は、【1】、【2】、【3】と押し、【OK】を押します。

暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

いったん設定した暗証番号を変えるときは、手順 3 で、以前の番号に上書きします。

4 を押して設定を終了する

暗証番号を削除するときは

(1) 「暗証番号を設定する」の手順 1、2 の操作を行う

(2) を長押しする

(3) 【OK】を押す

◆暗証番号が削除されます。

(4) を押す

外出先から本製品を操作する

お願い

- リモコンアクセスをするときは、暗証番号の入力が必要です。あらかじめ暗証番号を設定してください。
⇒ 50 ページ「暗証番号を設定する」
- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。リモコンアクセスをする / しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。

電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

外出先からの操作

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。

1 外出先から本製品に電話する

プッシュ回線に接続されているファクス機、またはトーン信号が送出できるファクス機からダイヤルします。

2 本製品が応答し、無音状態になったら、暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
ファクスメッセージが記憶されています。
- 無音：
ファクスメッセージが記憶されていません。
その後、「ピピッ」と鳴ったら、手順 3 に進みます。

3 リモコンコードを入力する

⇒ 52 ページ「リモコンコード」

外付け留守電モードに変更する場合は「9」「8」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「リモコンアクセスカード」

4 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。

正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

リモコンコード

コード	操作内容	
設定		
951	【メモリ受信】を【オフ】にする。（電話呼び出しやファクス転送の設定も解除されます。）	
952	ファクス転送を設定する。（転送先のファクス番号が登録されていないときは設定できません。）	
954	ファクス転送先を設定する。	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。
956	【メモリ受信】を有効にする。（【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります。）	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す。	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く。
971	ファクスが記憶されているかを確認する。	記憶されているとき：「ピー」という音がする。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする。
受信モード変更		
981	外付け留守電モードにする。	
982	自動切換えモードにする。	
983	ファクス専用モードにする。	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する。	

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスをメモリーで受信する」

リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。
⇒ユーザーズガイド 基本編「受信モードを選ぶ」

- ファクス専用モードの場合
  応答後、約 4 秒間無音になるとき、またはファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。
- 自動切換えモードの場合
  応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
- 外付け留守電モードの場合
  本製品と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。

※本製品と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 ～ 5 秒無音状態を入れておいてください。

外出先に転送する

転送機能

ファクスが届いたことを電話で知らせる

［電話呼び出し］

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクス機からリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。
⇒ 51 ページ「外出先からの操作」

- 【電話呼び出し】は、【ファクス転送】、【メモリ保持のみ】、【PC ファクス受信】と同時に設定できません。
- 電話呼び出し先として設定した電話が通話中の場合は、呼び出しされません。
- 通信管理レポートや発信履歴に呼び出しの履歴は残りません。
- 呼び出し先の電話番号は、外出先から変更できません。
- 【電話呼び出し】を設定をしても、本製品がカラーファクスを受信すると、呼び出し動作を行いません。
- NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープはかかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【電話呼び出し】を押す

- すでに呼び出し先の電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。

  電話番号を変更する場合は ⌫ を押していったん消去し、入力し直します。
  ⇒手順 4 へ
  変更しない場合は【OK】を押します。
  ⇒手順 5 へ

4 画面に表示されているテンキーで呼び出し先の電話番号を入力し、【OK】を押す

5 を押して設定を終了する

電話呼び出しを解除する

(1) 「ファクスが届いたことを電話で知らせる」の手順 3 で【オフ】を選ぶ

(2) を押す

◆電話呼び出しが解除されます。

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
デジカメプリント
付録

Memo

第 5 章

コピー

多彩なコピー機能

便利な A3 コピー

いろいろなコピー

多彩なコピー機能

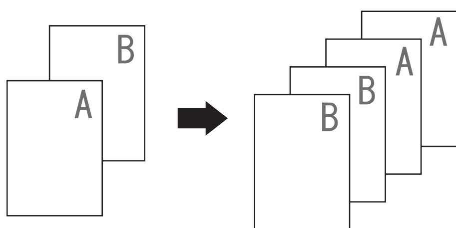
スタック / ソートコピーする

［スタック / ソートコピー］

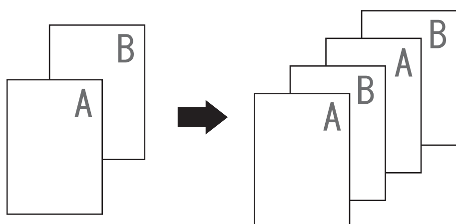
複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

> スタック / ソートコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

- スタックコピー
  ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
  一部ごとにまとめて排出します。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

> 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、いったんコピーしたあと、残りの部数を再度設定してください。

4 【設定変更】を押す

5 【スタック / ソート】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

6 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラースタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置　MFC-J4510N のみに搭載）に原稿をセットしたときまたは原稿台ガラスに原稿をセットして【スタックコピー】を選んだときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットして【ソートコピー】を選んだときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると画面に、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 9 に進みます。

9 【いいえ】を押す

> 原稿の読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは下記をご覧ください。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「画面にメッセージが表示されたときは」
>
> メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。
>
> スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

レイアウトコピーする

［レイアウトコピー］

複数の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- 2in1（タテ長）



- 2in1（ヨコ長）



- 2in1（ID カード）



- 4in1（タテ長）



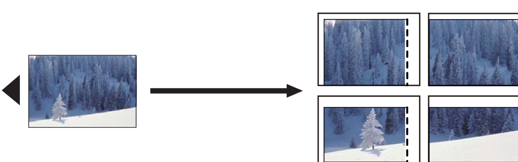
- 4in1（ヨコ長）



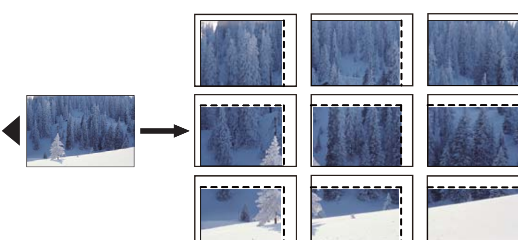
- ポスター（2 x 1）*1



- ポスター（2 x 2）*1



- ポスター（3 x 3）*1



*1 「のりしろ」の位置は、セットする原稿の向きによって異なります。

2in1（タテ長）/2in1（ヨコ長）/4in1（タテ長）/4in1（ヨコ長）

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーします。

> 2in1（タテ長）/2in1（ヨコ長）で使用できる記録紙は、A3、B4、A4 サイズのみです。
>
> 4in1（タテ長）/4in1（ヨコ長）で使用できる記録紙は、A4 サイズのみです。
>
> 2in1 または 4in1 コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

6 レイアウトの種類を選び、【OK】を押す

【2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）／4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）】から選びます。

> コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

7 【モノクロ スタート】または【カラースタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置　MFC-J4510N のみに搭載）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 次の原稿がある場合⇒手順 8 へ
- 次の原稿がない場合⇒手順 9 へ

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

すべての原稿の読み取りが終わるとコピーが開始されます。印刷が終了すると【次の原稿はありますか?／はい／いいえ】と表示されます。

9 【いいえ】を押す

2in1(ID カード)

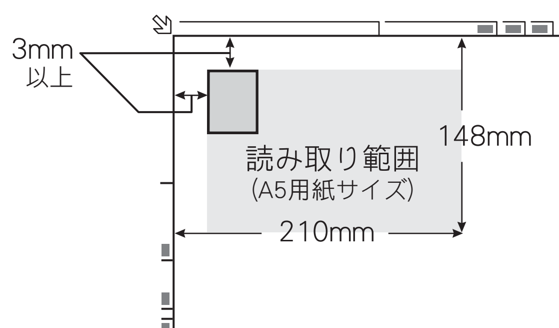
身分証明書など、カードサイズの原稿の両面を、1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーします。

- 使用できる記録紙は、A4 サイズのみです。
- 2in1（ID カード）コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。



2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

6 【2in1（ID カード）】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラースタート】を押す

原稿の読み取りが終わると【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿を裏返してセットし、【OK】を押す

おもて面と上下をそろえ、だいたい同じ位置で裏返すと、きれいに仕上がります。

ポスター（2 x 1）/ ポスター（2 x 2）/ ポスター（3 x 3）

原稿を自動的に拡大して、指定した枚数の A4 記録紙に分割してコピーします。貼り合わせに使用する「のりしろ」部分も計算されます。なお、ポスターコピーは複数部数の指定はできません。

- 記録紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。
- ポスター（2 x 1）、ポスター（3 x 3）で使用できる記録紙は、A4 サイズのみです。
- ポスター（2 x 2）で使用できる記録紙は、A3、A4 サイズのみです。
- ポスターコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 分割される枚数以上の記録紙がセットされていることを確認する

2 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 【コピー】を押す

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

6 レイアウトの種類を選び、【OK】を押す

【ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）】から選びます。

7 【モノクロ スタート】または【カラースタート】を押す

すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

両面コピーする

[両面コピー]

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。
ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

	印刷の向き：縦（タテ長原稿）	印刷の向き：横（ヨコ長原稿）
長辺とじ原稿	1 2 3 → 1 2 3	1 2 3 → 1 2 3
短辺とじ原稿	1 2 3 → 1 2 3	1 2 3 → 1 2 3

- 両面コピーで使用できる記録紙は、A4、A5、B5 サイズの普通紙のみです。
- 両面コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 【コピー】を押す

2 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

3 【設定変更】を押す

4 【両面コピー】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

5 原稿のとじ方を選ぶ

【印刷の向き : 縦 長辺とじ／印刷の向き : 横 長辺とじ／印刷の向き : 縦 短辺とじ／印刷の向き : 横 短辺とじ】 から選びます。

6 原稿をセットして、【OK】を押す

原稿が両面の場合は、片面ずつ順に原稿台にセットしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

お願い

■ ADF（自動原稿送り装置　MFC-J4510N のみに搭載）を使用する場合は、あらかじめ両面コピーしたいすべての原稿をセットしてください（ただし 1 回にセットできるのは 20 枚までです）。2 枚目以降がセットされていないと、原稿読み取りが終了したと認識され両面コピーが開始されてしまいます。

7 ソートコピーをするときは、【スタック / ソート】、【ソートコピー】を順に押す

8 【OK】を押す

9 【モノクロ スタート】または【カラースタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置　MFC-J4510N のみに搭載）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。読み取りが開始されます。

原稿1枚目を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、2 枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで記録紙に触れないでください。3 枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは記録紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次のページをセットして［スキャン］を押してください　全てのページが終わったら［完了］を押してください／スキャン／完了】と表示されます。

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【スキャン】、【OK】を順に押す

手順 7 で、ソートコピーを選択した場合は、原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 11 に進みます。

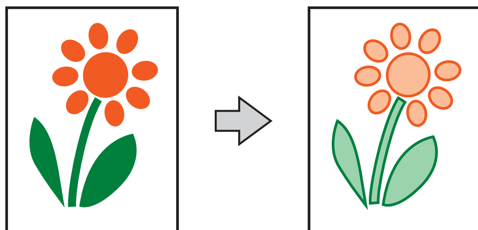
11 【完了】を押す

両面コピーをすると紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときは、あんしん設定をお試しください。
手順 4 のあとで、【あんしん設定】を押して、【あんしん 1】または【あんしん 2】を選びます。
【あんしん 1】では、印刷速度を落とします。【あんしん 2】では、印刷速度を落とすのに加え、インク量を抑えます。そのため通常のコピーよりやや薄くなります。

インクを節約してコピーする

［インク節約モード］

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。

インク節約モードでのコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】を順に押し、【OK】を押す

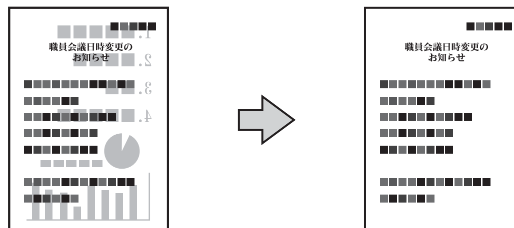
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピー時の裏写りを抑える

［裏写り除去コピー］

原稿の用紙が薄く、うら面に印字されている文字などが透けてコピーされてしまうようなときにお試しください。



「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



裏写り除去コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】を順に押し、【OK】を押す

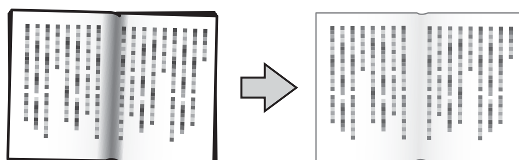
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ブックコピーする

［ブックコピー］

原稿台ガラスに本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。



お願い

■ ADF（自動原稿送り装置　MFC-J4510N のみに搭載）を使用してブックコピーはできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



ブックコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】を順に押し、【OK】を押す

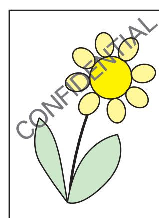
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

6 【モノクロ スタート】または【カラースタート】を押す

コピーに文字を重ねる

［透かしコピー］

コピーと同時に、設定した透かし文字をコピー画像に追加できます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：－45°
透過度：＋2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



透かしコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【透かしコピー】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

6 透かしの設定を行う

次の 6 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、【OK】を押してください。

- 【テキスト】：
  【CONFIDENTIAL ／重要／ COPY ／社外秘／至急】から選びます。
- 【位置】：
  【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面に印刷】から選びます。
  【全面に印刷】を選ぶと、紙面全体に文字が繰り返されます。
- 【サイズ】：
  【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  【-90°／ -45°／ 0°／ 45°／ 90°】から選びます。
- 【透過度】：
  【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。
- 【色】：
  【黒／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄】から選びます。カラーでコピーをした場合にのみ反映されます。

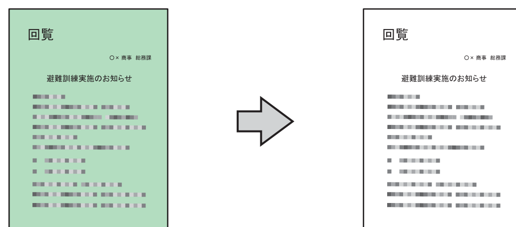
7 【OK】を押す

8 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の地色を除去してコピーする

[地色除去コピー]

原稿の地色（用紙色または背景色）がカラーの場合に地色を消してコピーします。白地でない用紙を使った原稿をコピーするときに、背景に色を付けるためにインクが消費されるのを防ぎます。



※ 除去できるのは原稿の地色がカラーの場合です。
地色が灰色の場合は除去できません。

> 地色除去コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【地色除去コピー】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

6 設定を選ぶ

【弱／中／強】から選びます。

7 【OK】を押す

8 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

A3 記録紙を使ったいろいろなコピー 便利な A3 コピー

本製品は、手差しトレイから A3 サイズの記録紙が利用できます。
この A3 記録紙を使ってコピーするとき、各種の設定が簡単にできるように、【便利な A3 コピー】というメニューが、待ち受け画面に用意されています。
A4 原稿と A3 記録紙をセットしてメニューを選ぶだけの簡単操作で、サイズを間違えて用紙を無駄にすることもありません。また、製品内蔵の罫線を自動的に配置するなど、実用的なメニューもあります。

A3 2 in 1 原稿2枚を記録紙1枚にまとめます。	A4原稿 A4原稿 A3記録紙
A4 ⇒ A3拡大 拡大率や記録紙サイズ設定でもう迷いません。	A4原稿 141%拡大します。 A3記録紙
A4 ＋ ノート(横) 資料とレポート用紙を組み合わせて。	A4原稿 右側に「横罫線」を配置します。 A3記録紙
A4 ＋ ノート(縦) 縦書きでもOK。趣味のサークルや授業の課題づくりに。 横長原稿なら、下に横罫線が付くイメージです。	A4原稿 右側に「縦罫線」を配置します。 A3記録紙
A4 ＋ 方眼 幼児向け学習プリントを手作りで。絵を見ながら、字や作文を楽しく練習。	A4原稿 右側に「方眼罫」を配置します。 A3記録紙

A4 ＋ メモ 会議の議事録を走り書きしても大丈夫。	A4原稿	左側に寄せてコピーし右側を空けます。	A3記録紙
A4 センター 注釈やアイデアを書き込む余白がまわりに欲しい！	A4原稿	原寸のまま記録紙の中央にコピーします。	A3記録紙

1 手差しトレイに A3 記録紙を 1 枚だけセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「手差しトレイにセットする」

2 A4 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 （MFC-J4510N のみ）左右にフリックするか、◀/▶を押して、待ち受け「便利な機能」画面にする

4 【便利な A3 コピー】を押す

便利な A3 コピーについての案内が表示されます。内容を確認して【OK】を押します。次回からこの画面を表示しない場合は、チェックボックスにチェックを付けて【OK】を押します。

5 便利な A3 コピーメニューを選んで、【OK】を押す

キーが表示されていないときは左右にフリックして、画面をスクロールさせます。

6 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※【A4 ⇒ A3 拡大】と【A4 センター】以外のメニューでカラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

複数部数を指定をした場合は、印刷完了後、画面に表示される手順に従って手差しトレイに記録紙をセットし、【OK】を押してください。

便利な A3 コピーの標準設定は、次の通りです。手順 6 のあと、【設定変更】を押して、コピー画質と濃度を変更できます。
便利な A3 コピーメニューの種類に関わらず、記録紙タイプおよび記録紙サイズは変更できません。

設定項目	設定値（括弧内は変更可能な設定値）
コピー画質	標準（標準／高画質）
記録紙タイプ	普通紙
記録紙サイズ	A3
コピー濃度	0（-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2）

Memo

第６章

デジカメプリント

デジカメプリント

写真や動画をプリントする　デジカメプリント

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする

[全て 1 枚選択]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。
ただし、一度にプリント設定できるのは 100 枚までです。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、下記のように操作してください。

MFC-J4510N の場合：

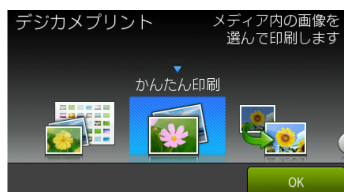
を押して、待ち受け【便利な機能】画面を表示させる

DCP-J4210N の場合：

を押して、待ち受け画面を表示させる

3 【デジカメプリント】を押す

4 【かんたん印刷】を選んで【OK】を押す



5 【全て 1 枚選択】を押す

【全ての写真選択枚数を 1 枚にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を押す

100 枚目までの写真のプリント枚数がすべて 1 枚に設定されます。

> 合計で 100 枚を超えなければ、個別にプリント枚数を増減させることもできます。この場合は手順 6 のあとで、対象の画像を選び、表示される【+】/【−】で枚数を設定して【OK】を押します。

7 【OK】を押す

8 画面で設定を確認する



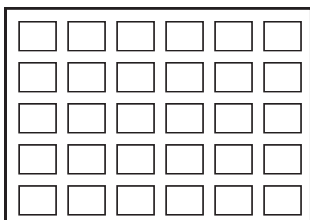
> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

9 【スタート】を押す

インデックスシートをプリントする

[インデックスシート]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリントできます。A4 サイズの記録紙 1 ページ内に最大 30 個の画像がプリントされます。



1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、下記のように操作してください。

MFC-J4510N の場合：

を押して、待ち受け【便利な機能】画面を表示させる

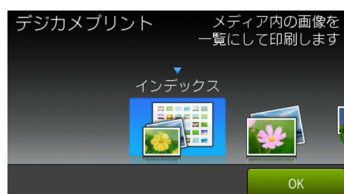
DCP-J4210N の場合：

を押して、待ち受け画面を表示させる

3 【デジカメプリント】を押す

4 左右にフリックして画面をスクロールさせ、【インデックス】を選ぶ

5 【OK】を押す



6 【インデックスシート】を押す

- 【印刷設定】を押すと、記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

7 【スタート】を押す

- インデックス番号が 1 から順に自動で割り振られます。パソコンで編集したファイル名は半角英数字で印字されます。全角文字は認識できません。
- インデックスシートをプリントする場合、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定値です。
- プリントされるのは JPEG（.JPG）および、MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）形式の画像です。
- インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする

［番号指定プリント］

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、下記のように操作してください。

MFC-J4510N の場合：

を押して、待ち受け【便利な機能】画面を表示させる

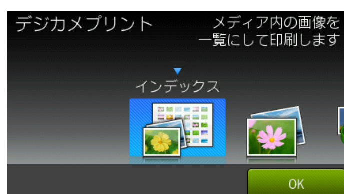
DCP-J4210N の場合：

を押して、待ち受け画面を表示させる

3 【デジカメプリント】を押す

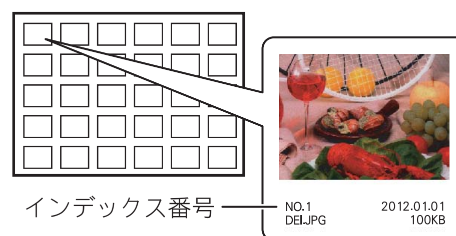
4 左右にフリックして画面をスクロールさせ、【インデックス】を選ぶ

5 【OK】を押す



6 【番号指定プリント】を押す

7 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像のインデックス番号を入力し、【OK】を押す



例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき

「1-5」と入力する

例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき

「1,3,5」と入力する

> 区切り記号も含めて 12 文字まで入力できます。

8 画面で設定を確認する



> 【印刷設定】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

9 【スタート】を押す

多様な補正機能を使ってプリントする

［こだわり印刷］

色や明るさを補正する（お好み色補正）

本製品には、下記 10 種の写真補正機能があります。写真に合わせた補正で、悪条件のもとで撮影された写真などを自然で美しい色合いにプリントできます。

メニュー	解説	再補正 * の有無
自動色補正	人物と風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
肌色あかるさ補正	人物の肌を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
色あざやか補正	風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
赤目補正	フラッシュ撮影時の赤目を補正したいときに選びます。	あり
夜景補正	夜景を美しくプリントしたいときに使用します。	なし
逆光補正	逆光による影を、明るく補正してプリントします。	なし
ホワイトボード補正	ホワイトボードへの照明の映りこみなどを除去して、文字を読みやすくします。	なし
モノクロ	カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに選びます。	なし
セピア	写真をセピア色でプリントしたいときに選びます。	なし
自動色補正＆赤目補正	人物、風景と同時に赤目を補正したいときに選びます。	あり

* 再補正とは、赤目の検出が一度でできなかったときに、再度「赤目検出」を試み、補正する機能です。

「こだわり印刷」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている画像の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編 「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、下記のように操作してください。

MFC-J4510N の場合：

を押して、待ち受け【便利な機能】画面を表示させる

DCP-J4210N の場合：

を押して、待ち受け画面を表示させる

3 【デジカメプリント】を押す

4 左右にフリックして画面をスクロールさせ、【こだわり印刷】を選ぶ

5 【OK】を押す



6 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは左右にフリックするか、◀/▶を押して、画面をスクロールさせます。

> ◀/▶を長押しすると目的の写真を早く表示できます。

7 【お好み色補正】を押す

8 目的に合った補正メニューを選ぶ

【自動色補正／肌色あかるさ補正／色あざやか補正／赤目補正／夜景補正／逆光補正／ホワイトボード補正／モノクロ／セピア／自動色補正＆赤目補正】から選びます。

> 【肌色あかるさ補正】、【色あざやか補正】、【夜景補正】、【逆光補正】は、◀/▶でコントラストを 3 段階に調節できます。
>
> 赤目補正の場合は、補正できると顔が赤枠で囲まれます。補正できなかったときは、【赤目を検出できません】と表示されます。【再補正】を押すと、再度、赤目検出を試みます。それでも【赤目を検出できません】と表示される場合は、それ以上の補正はできません。

9 補正後の画像を確認し、【OK】を押す

10 【+】/【−】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

11 画面で設定を確認する



> 【印刷設定】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

12 【スタート】を押す

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の中から必要な部分だけを切り取ってプリントできます。画像を回転させることもできます。

> 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、下記のように操作してください。

MFC-J4510N の場合：

を押して、待ち受け【便利な機能】画面を表示させる

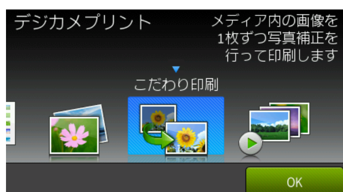
DCP-J4210N の場合：

を押して、待ち受け画面を表示させる

3 【デジカメプリント】を押す

4 左右にフリックして画面をスクロールさせ、【こだわり印刷】を選ぶ

5 【OK】を押す



6 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは左右にフリックするか、◀／▶を押して、画面をスクロールさせます。

> ◀/▶を長押しすると目的の写真を早く表示できます。

7 【トリミング】を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

8 枠の位置とサイズを選び、【OK】を押す



▲/▼/◀/▶で移動します。

【+】で拡大、【−】で縮小します。

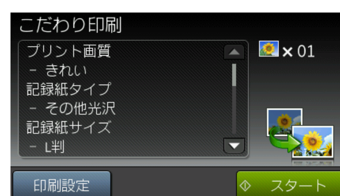
を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

9 トリミングした画像を確認し、【OK】を押す

10 【+】/【−】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

11 画面で設定を確認する



> 【印刷設定】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてプリントするには」

12 【スタート】を押す

補正とトリミングを同時に行う（お好み色補正＆トリミング）

【お好み色補正】で画像を補正をしながら、同時に【トリミング】で画像を切り取ってプリントできます。

1 「色や明るさを補正する（お好み色補正）」の手順 1 ～ 6 を行う

2 【お好み色補正＆トリミング】を押す

3 「色や明るさを補正する（お好み色補正）」の手順 8、9 を行う

4 「画像の一部を切り取る（トリミング）」の手順 8 ～ 9 を行う

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

[スライド表示]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を画面上で一定間隔に送り、順番に見ることができます。プリントしたい写真が表示されたときに画面を押すと、スライド表示中にプリントすることもできます。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、下記のように操作してください。

MFC-J4510N の場合：

を押して、待ち受け【便利な機能】画面を表示させる

DCP-J4210N の場合：

を押して、待ち受け画面を表示させる

3 【デジカメプリント】を押す

4 左右にフリックして画面をスクロールさせ、【スライド表示】を選ぶ

5 【OK】を押す



6 【切り替え時間】を押し、1 枚あたりの表示時間をを選ぶ

【3 秒／ 10 秒／ 30 秒／ 1 分／ 5 分】から選びます。ここで設定した値は、次に選び直すまで有効です。

7 【スライドショー効果】を押し、好みの表示方法を選ぶ

【オフ／スライドイン／フェードイン／ズームイン】から選びます。ここで設定した値は、次に選び直すまで有効です。

- 【オフ】：
  定位置での単純な切り替えです。
- 【スライドイン】：
  画像が流れるように切り替わります。
- 【フェードイン】：
  画像が徐々に消えて次に切り替わります。
- 【ズームイン】：画像が浮かび上がるように出てきて表示されます。

8 【開始】を押す

スライド表示が始まります。

9 終了するときは を押す

スライド表示の途中でプリントする

1 スライド表示中、プリントしたい画像が表示されているときに、画面を押す

2 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

3 画面で設定を確認する



【印刷設定】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

4 【スタート】を押す

付録

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **機密ポーリング**
受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッター**
ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**
ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**
Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● **とりまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

＝な＝

● **ナンバーディスプレイ**
電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**
受信したファクスメッセージを、指定したファクス機に転送する機能です。

● **プリンタードライバー**
パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポーリング通信**
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● **ポスターコピー**
1 枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**
受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リアルタイム送信**
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● **ログオン（ログイン）**

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● **2in1**

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● **4in1**

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● **ADF（自動原稿送り装置）**

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● **ADSL**

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● **CMYK**

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● **CSV 形式**

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● **DPI**

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● **IP フォン**

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● **ISDN**

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● **OS**

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● **PBX（構内交換機）**

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● **PC**

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● **PC ファクス**

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● **PC ファクス受信**

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● **TWAIN**

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● **USB ケーブル**

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● **vCard（vcf 形式）**

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● **WIA**

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

索引

つ

て

と

な

は

ひ

ふ

へ

ほ

め

も

や

ゆ

よ

り

れ